

事業概要

Ⅱ 各課の事業概要

1 健康科学課

健康科学課は、細菌、ウイルス、臨床（表 1-1）及び理化学検査に関する試験検査業務を実施し調査研究、並びに研究所の管理運営を行っている。

細菌検査では、食中毒、苦情食品、収去食品、飲料水、プール水、河川水、浴槽水及び結核・感染症発生動向調査事業等に係る試験検査及び調査研究を行っている。

ウイルス検査では、結核・感染症発生動向調査事業に係る検査と調査研究、並びに食中毒及び感染症の集団発生時の検査を実施している。

臨床検査では、三歳児健康診査、被爆者健康診断に係る検査の他、特定感染症検査等事業実施要綱に基づき HIV 抗体検査等を実施している。

理化学検査では、食品、家庭用品等について GLP（検査結果の信頼性を担保するための検査業務管理制度）に則した試験検査のほか、食中毒・苦情食品等の理化学検査や飲料水及びプール水等の水質検査、医薬品等検査、室内空気中の化学物質検査などを実施している。

（1）細菌検査

ア 病原細菌検査

赤痢予防対策実施要綱に基づき、給食従事者及び保健所職員の定期検便等を実施した（表 1-2）。赤痢菌、チフス菌及び腸管出血性大腸菌等の病原菌は検出されなかった。

感染症法に基づき、感染症発生時に細菌検査を実施した（表 1-3）。

イ 食中毒発生時及び苦情食品の検査

食中毒及び苦情に伴う患者便、食品、拭き取り等について原因菌及び寄生虫の検索を行った（表 1-4）。原因菌として、サルモネラ属菌、カンピロバクター属菌及びビブリオ属菌が検出された。また、寄生虫検査を実施した 25 検体のうち、3 検体からクドア属遺伝子が検出された。

ウ 収去食品等の細菌検査

食品衛生法に基づく規格基準、千葉市の指導基準及び食品の汚染状況に係る細菌検査を実施した（表 1-5）。

エ 水質検査

水道法に基づく飲料水検査、千葉市遊泳用プール指導要綱に基づくプール水検査及び環境基本法等に基づく事業場排水、河川水、海水、海水浴場水の検査を実施した。また、公衆浴場法及び特定建築物維持管理指導要綱に基づき、浴槽水、冷却塔水等のレジオネラ検査を実施した。

水質細菌検査の種類及び項目数については、表 1-6 のとおりである。

（2）ウイルス検査

ア 結核・感染症発生動向調査事業に係るウイルス検査（表 1-7）

（ア）麻疹ウイルス及び風疹ウイルス検査

保健所から依頼された咽頭ぬぐい液 69 検体、血液 63 検体及び尿 55 検体の計 187 検体について実施した。その結果、風疹ウイルス 2B 型が 1 症例 1 検体から検出された。

（イ）デングウイルス、チクングニアウイルス及びジカウイルス検査

保健所から依頼された血液 15 検体及び尿 1 検体の計 16 検体について検査を実施した。その結果、デングウイルス 1 型が 1 検体、デングウイルス 2 型が 1 検体、デングウイルス 3 型が 2 検体から検出された。

（ウ）その他のウイルス検査

保健所及び病原体定点から依頼された咽頭ぬぐい液、糞便及び髄液等 533 検体について検査を実施した。

イ 食中毒及び感染症の集団発生時のウイルス検査（表 1-8）

食中毒及び感染症の集団発生時の食品、糞便、吐物及び拭き取り検体について、ノロウイルス及びその他のウイルス検査を実施した。また、ウイルスが検出された一部の検体については遺伝子解析（シーケンス）を実施した。

ウ 蚊媒介感染症に関する定点モニタリング検査

保健所から依頼された蚊の虫体 11 検体（65 匹）について、デングウイルス、チクングニアウイルス及びジカウイルスの検査を実施した（表 1-1）。その結果、全ての検体で不検出であった。

（3）臨床検査

ア 三歳児健康診査

三歳児健康診査について尿検査（一次、二次）を行った。一次検査は糖、蛋白、潜血、白血球、亜硝酸塩、比重について、二次検査は糖、蛋白、潜血、白血球、亜硝酸塩に沈査を追加して行った（表 1-9）。

一次検査 7,252 件のうち、有所見（糖・蛋白・潜血が±以上、白血球・亜硝酸塩が+以上）により行った二次検査数は 688 件（9.5%）であった。

イ 被爆者健康診断

被爆者健康診断に係る尿検査を行った（表 1-9）。

ウ HIV 抗体検査

特定感染症検査等事業に係る HIV 抗体検査を行った。スクリーニング及び確認検査は合計 649 件であり、最終判定で陽性は 5 件であった（表 1-10）。

表 1-1 平成 28 年度 健康科学課（細菌・ウイルス・臨床）検査件数

総 計		60,415
細菌	病原細菌	766
	食中毒細菌	6,372
	食品細菌	1,830
	飲料水細菌	1,014
	プール水細菌	24
	河川水、放流水等の細菌	226
	冷却塔水、浴槽水等	29
真菌	分離培養	-
ウイルス	分離同定(含食中毒、食品及び蚊)	1,489
	HIV 抗体検査 (スクリーニング)	649
臨床	尿一般	48,016

表 1-2 平成 28 年度 腸内細菌検査実施状況

項 目	件 数
赤痢菌、チフス菌	297
腸管出血性大腸菌等	330
計	627

表 1-3 平成 28 年度 感染症発生時細菌検査実施状況

項 目	患者及び接触者等
赤痢菌	20
チフス菌	-
コレラ菌	3
腸管出血性大腸菌	78
その他	38
計	139

表 1-4 平成 28 年度 食中毒発生時及び苦情食品等の細菌検査実施状況

区 分		総数	食品	糞便	吐物	ふきとり	その他
検 体 数		534	87	419	2	15	11
項 目 数		6,372	211	5,958	31	155	17
検 査 項 目	生菌数	4	4	-	-	-	-
	大腸菌群	-	-	-	-	-	-
	E.coli	-	-	-	-	-	-
	ビブリオ属菌	421	9	400	2	10	-
	黄色ブドウ球菌	431	10	404	2	10	5
	サルモネラ属菌	493	75	401	2	15	-
	カンピロバクター	432	9	411	2	10	-
	腸管出血性大腸菌	414	9	393	2	10	-
	病原大腸菌	414	9	393	2	10	-
	セレウス菌	426	9	393	2	10	12
	ウェルシュ菌	414	9	393	2	10	-
	エルシニア	414	9	393	2	10	-
	エロモナス	414	9	393	2	10	-
	プレジオモナス	414	9	393	2	10	-
	赤痢菌	414	9	393	2	10	-
	コレラ菌	414	9	393	2	10	-
	チフス菌	414	9	393	2	10	-
パラチフス菌	414	9	393	2	10	-	
その他の菌	-	-	-	-	-	-	
寄生虫	25	5	19	1	-	-	
検 出 状 況	<i>Salmonella</i> Nagoya	9	1	7	-	-	-
	<i>Campylobacter jejuni</i>	8	1	7	-	-	-
	<i>Vibrio parahaemolyticus</i>	1	-	1	-	-	-
	<i>Kudoa</i> spp.	-	1	2	-	-	-

表 1-5 平成 28 年度 収去食品等の細菌検査実施状況

項目 分類	総数	細菌検査項目																				
		細菌数	大腸菌群	E.coli: MPN	E.coli:	乳酸菌数	ビブリオ属菌	腸炎ビブリオ最確数	黄色ブドウ球菌	サルモネラ属菌	カンピロバクター	腸管出血性大腸菌	セレウス菌	ウエルシュ菌	リステリア	クロストリジウム属菌	恒温試験	腸球菌	VRE	緑膿菌	細菌試験	抗生物質
項目数	1,830	273	165	9	145	4	697	35	183	137	90	68	2	-	1	1	5	-	-	-	5	10
魚介類	239	20	-	9	11	-	143	35	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
冷凍食品 (無加熱摂取)	4	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
冷凍食品 (凍結前加熱)	28	14	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
冷凍食品 (凍結前未加熱)	58	29	-	-	29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
魚介類加工品	238	20	21	-	16	-	134	-	13	10	7	17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
肉卵類及び その加工品	347	37	11	-	26	-	78	-	50	80	41	23	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
乳製品	26	6	15	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
アイスクリーム類 氷菓	20	10	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
穀類及び その加工品	407	45	7	-	38	-	204	-	45	34	34	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
野菜類・果実及び その加工品	311	44	29	-	25	-	138	-	24	13	8	28	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
菓子類	120	40	40	-	-	-	-	-	40	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
清涼飲料水	10	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
牛乳	12	6	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
加工乳(3%未満)	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他の食品	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	5	-

表 1-6 平成 28 年度 水質細菌検査実施状況

検査項目	件数
飲料水	
一般細菌	401
大腸菌	519
嫌気性芽胞菌	94
小計	1,014
プール水	
一般細菌	12
大腸菌群	12
小計	24
事業場排水	
大腸菌群数	101
河川水、海水	
大腸菌群数(最確数)	124
海水浴場水	
EHEC O157	1
小計	226
浴槽水・冷却塔水等	
レジオネラ	29
小計	29
総計	1,293

表 1-7 平成 28 年度 結核・感染症発生動向調査事業に係るウイルス検査実施状況

		咽頭ぬぐい液 (うがい液含む)	鼻汁	糞便 等	髄液	尿	血液	その他	計
検 体 数	病原体定点	55	351	15	-	-	-	9	430
	保健所	103	-	14	24	62	102	1	306
	計	158	351	29	24	62	102	10	736
検 出 状 況	インフルエンザウイルス	6	84	-	-	-	-	-	90
	コクサッキーウイルス	4	4	-	1	-	-	-	9
	エコーウイルス	2	3	1	-	-	-	-	6
	ヒトライノウイルス	7	72	-	-	-	-	2	81
	ヒトコロナウイルス	1	23	-	-	-	-	1	25
	RS ウイルス	-	67	-	-	-	-	1	68
	ヒトメタニューモウイルス	1	49	-	-	-	-	-	50
	パラインフルエンザウイルス	1	28	-	-	-	-	-	29
	ヒトボカウイルス	3	31	-	-	-	-	-	34
	アデノウイルス	29	5	1	-	-	-	-	35
	ヒトヘルペスウイルス	10	-	-	-	-	2	-	12
	風疹ウイルス	1	-	-	-	-	-	-	1
	ムンプスウイルス	1	-	-	1	-	1	-	3
	デングウイルス	-	-	-	-	-	4	-	4
	A 型肝炎ウイルス	-	-	2	-	-	-	-	2
	ノロウイルス	-	-	6	-	-	-	-	6
	サポウイルス	-	-	1	-	-	-	-	1
ロタウイルス	-	-	2	-	-	-	-	2	

表 1-8 平成 28 年度 食中毒及び感染症の集団発生時のウイルス検査実施状況

		食品	糞便	吐物	拭き取り	その他	計
検 体 数	食中毒	56	477	2	26	-	561
	感染症	-	181	-	-	-	181
	計	56	658	2	26	-	742
項 目 別 検 体 数	ノロウイルス	56	652	2	26	-	736
	その他のウイルス (※)	2	520	2	10	-	534
	遺伝子解析	-	144	-	1	-	145
	計	58	1,316	4	37	-	1,415
検 出 状 況	ノロウイルス GI	-	51	-	-	-	51
	ノロウイルス GII	-	259	-	1	-	260
	サポウイルス	-	17	-	-	-	17
	アストロウイルス	-	-	-	-	-	-
	ロタウイルス	-	7	-	-	-	7

(※) その他のウイルス：サポウイルス、アストロウイルス、ロタウイルス及びアデノウイルス

表 1-9 平成 28 年度 臨床検査実施状況

検査項目		区 分	総 数	内 訳			被爆者健診
				三歳児健診			
				一次	二次	合計	
尿	糖		8,034	7,252	688	7,940	94
	蛋白		8,034	7,252	688	7,940	94
	ウロビリノーゲン		94	-	-	-	94
	潜血反応		8,034	7,252	688	7,940	94
	白血球		7,940	7,252	688	7,940	-
	亜硝酸塩		7,940	7,252	688	7,940	-
	比重		7,252	7,252	-	7,252	-
	沈渣		688	-	688	688	-

表 1-10 平成 28 年度 HIV抗体検査実施状況

項目	件数	陽性数
スクリーニング検査	649	5
確認検査	5	5

(4) 理化学検査

ア 食品等検査

平成 28 年度の理化学検査総数は、食品等 1,065 検体、21,758 項目であった。

(7) 食品中の添加物等検査、乳及び乳製品・容器包装等の規格試験検査、重金属検査、自然毒検査

a 添加物等検査

甘味料 312 項目、着色料 1,836 項目、保存料 254 項目、酸化防止剤 108 項目、漂白・殺菌剤 13 項目、発色剤 25 項目、防ばい剤 2 項目、品質保持剤 12 項目、乳化剤 10 項目を実施した(表 1-11-1)。

b 乳及び乳製品

乳等規格検査 40 項目を実施した(表 1-11-1)。

c 容器包装等規格検査

容器包装等規格検査 40 項目(器具容器包装の重金属検査 15 項目を含む)を実施した(表 1-11-1)。

d 重金属検査

魚介類、清涼飲料水、器具容器包装などについて 89 項目(表 1-11-1 にて、容器包装等規格、清涼飲料水規格に計上した分を含む)を実施した(表 1-11-1~2)。

e 自然毒検査

カビ毒、貝毒について 19 検体 22 項目を実施した(表 1-11-1、表 1-11-3)。

(イ) 農産物等の残留農薬検査

穀類及びその加工品 5 検体 810 項目、農産物(豆類、果実、野菜、種実、茶) 85 検体 14,312 項目、学校給食食材 10 検体 10 項目、その他の食品 10 検体 640 項目を実施した。

以上、全体で 194 種類の農薬について、合計 110 検体 15,772 項目の検査を実施した(表 1-11-1、表 1-11-4-1~4)。

(ウ) 畜水産物中の残留動物用医薬品の検査

乳(生乳・牛乳) 7 検体 112 項目、鶏卵 9 検体 171 項目、食肉(牛肉・豚肉・鶏肉) 39 検体 816 項目(うち 2 検体 2 項目は学校給食)、魚介類(コイ・マダイ等 9 種) 19 検体 118 項目を実施した。

以上、23 種類の動物用医薬品について 74 検体 1,217 項目の検査を実施した(表 1-11-5)。

(エ) 組換え DNA 技術応用食品の検査

トウモロコシ 5 検体 5 項目の検査を実施した(表 1-11-6)。

(オ) 流通食品中の放射能検査

東京電力福島第一原子力発電所の事故により放出された放射性物質の汚染状況について、流通食品および給食(提供食・食材)の検査を 626 検体実施した。(表 1-11-7)。

(カ) 苦情食品検査

保健所から依頼された苦情食品検査は 22 検体で、依頼項目は 685 項目であった(表 1-11-8~9)。

イ 家庭用品の規格検査

「有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律」に基づき、健康被害を防止するため、ホルムアルデヒド等 8 物質について検査を行った。内訳は繊維製品 13 種 106 項目、家庭用化学製品 3 種 22 項目であり、合計 16 種 128 項目の検査を実施した(表 1-12)。

ウ 飲料水等及び遊泳用プール水の水質検査

飲料水等の水質検査は、水道法の「水質基準に関する省令」に基づき、51 基準項目(31 健康項目+20 性状項目)について実施した。また、「千葉市遊泳用プール指導要綱」に基づきプール水の検査を行なった。

平成 28 年度的全検査件数は 582 件で、このうち飲料水等の水質検査は 569 件、プール水は 13 件であった(表 1-13-1)。

自家用井戸水の検査件数 166 件中 27 件(16.3%)で不適項目があった(表 1-13-2)。

必須項目検査を実施した自家用井戸水(156 件)の検査結果を区別、項目別に集計した(表 1-13-3)。また、平成 28 年度に検査を実施した飲料水等の検査項目別理化学検査件数と不適合数を表 1-13-4 に示した。なお、プール水の検査状況は表 1-13-5 のとおりであった。

エ 室内空気化学物質の検査

建築物における衛生的環境の確保に関する法律に基づく依頼検査を 2 件 10 検体について実施した(表 1-14)。

表 1-11-1 平成 28 年度 食品理化学等検査実施状況

検査項目 検査検体の種類	総検体数	食品添加物等										乳等規格	容器包装等規格	添加物規格	清涼飲料水規格	重金属	カビ毒・貝毒	残留農薬	動物用医薬品	組換えDNA技術応用食品	放射能	その他	総検査項目数
		甘味料	着色料	保存料	酸化防止剤	漂白・殺菌剤	発色剤	防ばい剤	品質保持剤	乳化剤													
検査区分合計	1,065	312	1,836	254	108	13	25	2	12	10	40	40	11	94	36	22	16,276	1,217	5	1,252	193	21,758	
食品等	魚介類	65	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	32	6	-	118	-	82	1	239	
	冷凍食品	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	640	-	-	-	-	640	
	魚介類加工品	52	76	408	83	6	1	7	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14	-	596	
	肉卵類及びその加工品	93	-	168	16	12	-	18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	987	-	48	-	1,249
	乳製品	53	20	36	21	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	72	-	153
	乳類加工品	5	-	-	9	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	25
	アイスクリーム類・氷菓	10	20	84	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	114
	穀類及びその加工品	23	-	72	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-	-	-	-	810	-	4	6	11	914
	野菜類・果物及びその加工品	226	66	414	64	8	12	-	2	-	-	-	-	-	-	10	-	14,322	-	-	164	-	15,062
	菓子類	51	110	558	41	70	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	790
	清涼飲料水	43	20	96	20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	94	-	-	-	-	-	66	-	296
	酒精飲料	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2
	その他の食品	377	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	754	-	754
	添加物及びその製剤	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	4	-	-	-	-	-	-	15
	器具容器包装	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	40	-	-	-	-	-	-	-	-	-	40
	生乳	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	16	-	-	18
	牛乳	19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	24	-	-	-	-	6	-	-	96	-	26	152
加工乳(乳脂肪分3%未満)	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	6	
その他の乳	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	8	
小計	1,043	312	1,836	254	108	13	25	2	12	10	40	40	11	94	36	22	15,772	1,217	5	1,252	12	21,073	
苦情品(食品等)	22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	504	-	-	-	181	685	

表 1-11-2 平成28年度 重金属検査

項目名	検体名															総計	
		清涼飲料水	器具容器包装	添加物	アサリ	アユ	ウナギ	クルマエビ	コイ	スズキ	ニジマス	ヒラメ	ブリ	ホタテガイ	マダイ		ムラサキイガイ
検体数		10	5	2	1	1	1	1	1	1	2	1	2	1	1	1	31
ホウ素		2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
六価クロム		2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
マンガン		2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
銅		2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
亜鉛		2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
ヒ素		10	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12
セレン		2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
カドミウム		2	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
バリウム		2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
鉛		10	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15
水銀		2	-	-	1	1	1	1	1	2	1	2	1	1	1	1	16
T B T O		-	-	-	1	-	-	1	-	1	-	1	2	1	1	1	9
T P T		-	-	-	1	-	-	1	-	1	-	1	2	1	1	1	9
重金属 (器具容器包装規格・添加物規格)		-	5	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
合計		38	15	4	3	1	1	3	1	3	2	3	6	3	3	3	89

表 1-11-3 平成28年度 自然毒検査

項目名	検体名							総計	
		らつかせい	カシユーナッツ	アーモンド	牛乳	アサリ	ムラサキイガイ		ホタテガイ
検体数		8	1	1	6	1	1	1	19
総アフラトキシン		8	1	1	-	-	-	-	10
アフラトキシンM1		-	-	-	6	-	-	-	6
下痢性貝毒		-	-	-	-	1	1	1	3
麻痺性貝毒		-	-	-	-	1	1	1	3
合計		8	1	1	6	2	2	2	22

表 1-11-4-1 平成28年度 農作物等の残留農薬検査（検体種別 収去・買上検査）

分類	検体種	検体数	項目数
穀類及びその加工品	小麦粉	5	810
豆類	らっかせい	5	750
果実	いちご	2	346
野菜	未成熟いんげん	1	172
	未成熟えんどう	1	159
	かぼちゃ	2	328
	キャベツ	7	1,190
	きゅうり	5	865
	ごぼう	1	177
	こまつな	5	860
	さつまいも	1	170
	さといも	3	510
	サラダ菜	1	173
	しゅんぎく	1	174
	すいか	2	346
	だいこん	3	528
	たまねぎ	1	171
	チンゲン菜	1	174
	トマト	5	880
	菜の花	1	161
	にんじん	5	885
	ねぎ	5	855
	はくさい	1	173
	ばれいしょ	1	167
	ピーマン	4	692
	ブロッコリー	3	490
	ほうれんそう	7	1,178
	らっきょうその他ユリ科	1	171
	レタス	2	346
わけねぎ	1	171	
種実類	アーモンド	1	150
	その他のナッツ類	1	150
茶	茶	5	750
その他	冷凍食品等	10	640
	合 計	100	15,762

表 1-11-4-2 平成28年度 農作物等の残留農薬検査（検体種別 給食食材）

分類	検体種	検体数	項目数
野菜	キャベツ	1	1
	こまつな	2	2
	たまねぎ	1	1
	トマト	1	1
	ねぎ	1	1
	はくさい	2	2
	ほうれん草	1	1
果物	みかん	1	1
	合 計	10	10

表 1-11-4-3 平成28年度 農作物等の残留農薬検査（農薬別 収去・買上、給食食材検査数）

農薬名	検査数	農薬名	検査数	農薬名	検査数
BHC(リンデンを除く)(和)	90	ジスルホトン	10	フェンブコナゾール	85
DDT	83	シハロトリン (合算)	90	フェンプロバトリン	90
EPN	17	ジフェナミド	90	フェンプロビモルフ	83
XMC	83	ジフェノコナゾール (合算)	90	フサライド	90
アクリナトリン	90	シフルトリン (合算)	90	ブタミホス	100
アザコナゾール	85	ジフルベンズロン	65	ブピリメート	90
アジンホスエチル	10	シプロコナゾール(合算)	90	ブプロフェジン	90
アジンホスメチル	10	シベルメトリン(合算)	83	フラムブロップメチル	90
アセタミプリド	80	シマジン	90	フルアクリピリム	90
アセトクロール	90	ジメタメトリン	85	フルシトリネート (合算)	90
アセフェート	10	ジメチルピンホス (合算)	100	フルシラゾール	90
アトラジン	75	ジメトエート	100	フルトラニル	75
アメトリン	57	ジメピペレート	90	フルトリアホール	90
アルジカルブ	65	シラフルオフェン	83	フルバリネート (合算)	90
アルドリン及びディルドリン	41	スルプロホス	10	フルフェノクスロン	65
イサゾホス	90	ダイアジノン	100	フルミオキサジン	90
イソキサチオン (代謝体含)	100	チオベンカルブ	90	フルミクロラックベンチル	75
イソフェンホス	100	チオメトン	95	ブレチラクロール	90
イソプロカルブ	90	テトラクロルピンホス	90	ブロシミドン	90
イソプロチオラン	90	テトラジホン	90	プロチオホス	93
イブロジオン	90	テニルクロール	90	プロバクロール	85
イブロバリカルブ	75	テブコナゾール	90	プロバニル (DCPA)	75
イブロベンホス	100	テブフェノシト	65	プロバホス	10
イマザメタベンズメチルエステル	78	テブフェンピラド	90	プロバルギット (合算)	90
イミベンコナゾール	81	テフルトリン	90	プロビコナゾール(合算)	90
エスプロカルブ	90	テフルベンズロン	65	プロビザミド	90
エチオフェンカルブ	10	デルタメトリン	90	プロフェノホス	100
エチオン	100	テルブホス	100	プロボキシル	90
エディフェンホス	100	トリアジメノール(合算)	100	プロマシル	90
エトフメセート	90	トリアジメホン	90	プロメトリン	90
エトプロホス	100	トリアゾホス	90	プロモブチド	90
エトリムホス	100	トリアレート	83	プロモプロピレート	90
エンドスルフアン (和)	90	トリブホス (DEF)	90	プロモホスエチル	10
エンドリン	35	トリフロキシストロピン	90	プロモホスメチル	90
オキサジアゾン	90	トルクロホスメチル	100	ヘキサジン	85
オキサジキシル	90	トルフェンピラド	90	ベナラキシル	90
オキサミル	65	ナプロバミド	90	ベノキサコル	90
オキシフルオルフェン	90	ニトロタールイソプロピル	90	ヘプタクロール	83
オメトエート	10	ノルフルラゾン	90	ペルメトリン (合算)	83
カズサホス	100	バクロブトラゾール	90	ペンダイオカルブ	75
カルバリル	75	バミドチオン	10	ペンディメタリン	90
カルフェントラゾンエチル	90	バラチオン	99	ペンフルラリン	85
カルボフラン	90	バラチオンメチル	100	ベンフレセート	90
キナルホス	67	ハルフェンブロックス	83	ホサロン	100
キノキシフェン	90	ピテルタノール (合算)	90	ホセチアゼート(合算)	100
キノクラミン	52	ピフェントリン	90	ホスファミドン	95
キントゼン	78	ビペロホス	90	ホスメット	85
クマホス	10	ピラクロホス	100	ホルモチオン	10
クロマゾン	90	ピラゾホス	90	ホレート	95
クロルタールジメチル (TCTP)	90	ピリダフェンチオン	100	マラチオン	100
クロルデン	83	ピリダベン	90	ミクロブタニル	85
クロルピリホス	110	ピリフェノックス(和)	90	メタミドホス	10
クロルピリホスメチル	100	ピリプロキシフェン	90	メタラキシル	90
クロルフェンピンホス (合算)	100	ピリミカルブ	75	メチオカルブ	90
クロルフルアズロン	65	ピリミホスメチル	100	メチダチオン	100
クロルプロファム	90	ピンクロゾリン	90	メトキシクロル	90
クロルベンジレート	90	フェナミホス	100	メトミノストロピン (和)	90
サリチオン	10	フェナリモル	90	メトラクロール	90
シアノフェンホス	10	フェニトロチオン	100	メフェナセット	90
シアノホス	100	フェノチオカルブ	90	メプロニル	90
ジエトフェンカルブ	90	フェノトリン(合算)	83	モノクロトホス	95
ジクロフェンチオン	10	フェノブカルブ	75	ルフェスロン	65
ジクロホップメチル	90	フェンスルホチオン	95	レナシル	86
ジクロラン	90	フェンチオン	100		
ジクロルボス	10	フェントエート	100		
ジコホール(合算)	75	フェンバレレート (合算)	90	合計	15,772

表 1-11-4-4 平成28年度 苦情食品、食中毒等の残留農薬検査（農薬別検査数）

農薬名	検査数	農薬名	検査数	農薬名	検査数
BHC	3	ジスルホトン	0	フェントエート	3
DDT	3	シハロトリン（合算）	3	フェンバレレート（合算）	3
EPN	3	ジフェナミド	3	フェンブコナゾール	3
XMC	3	ジフェノコナゾール（合算）	3	フェンプロパトリン	3
アクリナトリン	3	シフルトリン（合算）	3	フェンプロピモルフ	3
アザコナゾール	3	ジフルベンズロン	0	フサライド	3
アジンホスエチル	0	シブコナゾール（合算）	3	ブタミホス	3
アジンホスメチル	0	シペルメトリン（合算）	3	ブピリメート	3
アセタミプリド	3	シマジン	3	ブプロフェジン	3
アセトクロール	3	ジメタメトリン	3	フラムプロップメチル	3
アセフエート	3	ジメチルビンホス（合算）	3	フルアクリピリム	3
アトラジン	3	ジメトエート	3	フルシトリネート（合算）	3
アメトリン	3	ジメピペレート	3	フルシラゾール	0
アルジカルブ	0	シラフルオフェン	0	フルトラニル	3
アルドリン及びディルドリン	3	スルプロホス	3	フルトリアホール	3
イサゾホス	3	ダイアジノン	3	フルバリネート（合算）	3
イソキサチオン（代謝体含）	3	チオベンカルブ	3	フルフェノクスロン	0
イソフェンホス	3	チオメトン	3	フルミオキサジン	3
イソプロカルブ	3	テクナゼン	3	フルミクロラックペンチル	3
イソプロチオラン	3	テトラクロルビンホス	3	プレチラクロール	3
イブロジオン	0	テトラジホン	3	プロシミドン	3
イブロバリカルブ	0	テニルクロール	3	プロチオホス	3
イブロボホス	3	テブコナゾール	3	プロバクロール	3
イマザメタベンズメチルエステル	3	テブフェノシト	0	プロバニル（DCPA）	3
イミベンコナゾール	3	テブフェンピラド	3	プロパホス	3
エスプロカルブ	3	テフルトリン	3	プロバルギット（合算）	3
エチオン	3	テフルベンズロン	0	プロピコナゾール（合算）	3
エディフェンホス	3	デルタメトリン	3	プロピザミド	3
エトフメセート	3	テルブホス	3	プロフェノホス	3
エトプロホス	3	トリアジメノール（合算）	3	プロポキスル	3
エトリムホス	3	トリアジメホン	3	プロマシル	3
エンドスルファン（和）	3	トリアゾホス	3	プロメトリン	3
エンドリン	3	トリアレート	3	プロモブチド	3
オキサジアゾン	3	トリブホス（DEF）	3	プロモプロピレート	3
オキサジキシル	3	トリフロキシストロビン	3	プロモホスエチル	0
オキサミル	0	トルクロホスメチル	3	プロモホスメチル	0
オキシフルオルフェン	3	トルフェンピラド	3	ヘキサジノン	3
オメトエート	0	ナプロパミド	3	ベナラキシル	3
カズサホス	3	ニトロタールイソプロピル	3	ベノキサコル	3
カルバリル	0	ノルフルラゾン	3	ヘプタクロール	0
カルフェントラズンエチル	3	パクロプトラゾール	3	ベルメトリン（合算）	3
カルボフラン	3	バミドチオン	0	ベンダイオカルブ	0
キナルホス	3	パラチオン	3	ペンディメタリン	3
キノキシフェン	3	パラチオンメチル	3	ベンフルラリン	3
キノクラミン	3	ハルフェンブロックス	3	ベンフレセート	3
キントゼン	3	ピテルタノール（合算）	3	ホサロン	3
クマホス	0	ビフェントリン	3	ホスチアゼート（合算）	3
クロマゾン	3	ピペロホス	3	ホスファミドン	3
クロルタールジメチル（TCTP）	3	ピラクロホス	3	ホスメット	3
クロルデン	0	ピラゾホス	3	ホルモチオン	3
クロルピリホス	3	ピリダフェンチオン	3	ホレート	3
クロルピリホスメチル	3	ピリダベン	3	マラチオン	3
クロルフェンビンホス（合算）	3	ピリフェノックス（和）	3	マイクロブタニル	3
クロルフルアズロン	0	ピリプロキシフェン	3	メタミドホス	3
クロルプロファミ	3	ピリミカルブ	0	メタラキシル	3
クロルベンジレート	3	ピリミホスメチル	3	メチオカルブ	0
サリチオン	3	ピンクロソリン	3	メチダチオン	3
シアノフェンホス	3	フェナミホス	3	メトキシクロル	3
シアノホス	3	フェナリモル	3	メトミノストロビン（和）	3
ジエトフェンカルブ	3	フェニトロチオン	3	メトラクロール	3
ジクロフェンチオン	3	フェノチオカルブ	3	メフェナセツト	3
ジクロホップメチル	3	フェノトリン（合算）	3	メプロニル	3
ジクロラン	3	フェノブカルブ	0	モノクロトホス	3
ジクロルボス	3	フェンスルホチオン	3	ルフェヌロン	0
ジコホール（合算）	3	フェンチオン	3	レナシル	3
				合計	504

表 1-11-5 平成 28 年度 畜水産物中の残留動物用医薬品検査

検体名 項目名	牛乳	生乳	鶏卵	牛肉	豚肉	鶏肉	アユ	マダイ	コイ	ニジマス	ウナギ	ヒラメ	クルマエビ	ブリ(ハマチ)	生食用カキ	総計
	6	1	9	13	2	24	1	1	1	2	1	1	1	2	9	
オキシテトラサイクリン	6	1	9	13	-	24	1	1	1	2	1	1	1	2	9	72
クロルテトラサイクリン	6	1	9	13	-	24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	53
テトラサイクリン	6	1	9	13	-	24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	53
スピラマイシン	-	-	-	-	-	-	1	1	1	2	1	1	1	2	9	19
スルファメラジン	6	1	9	13	-	24	1	1	1	2	1	1	1	2	-	63
スルファジミジン	6	1	9	13	2	24	1	1	1	2	1	1	1	2	-	65
スルファモノメトキシシ	6	1	9	13	-	24	1	1	1	2	1	1	1	2	-	63
スルファジメトキシシ	6	1	9	13	-	24	1	1	1	2	1	1	1	2	-	63
スルファキノキサリン	6	1	9	13	-	24	1	1	1	2	1	1	1	2	-	63
スルファジアジン	-	-	9	13	-	24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	46
スルファチアゾール	-	-	9	13	-	24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	46
スルファドキシシ	-	-	9	13	-	24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	46
スルファメトキサゾール	-	-	9	13	-	24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	46
オキシリン酸	6	1	-	13	-	24	1	1	1	2	1	1	1	2	-	54
チアンフェニコール	6	1	9	13	-	24	1	1	1	2	1	1	1	2	-	63
オルメトプリム	6	1	9	13	-	24	1	1	1	2	1	1	1	2	-	63
チアベンダゾール	6	1	9	13	-	24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	53
フルベンダゾール	6	1	9	13	-	24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	53
トリメトプリム	6	1	9	13	-	24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	53
5-プロピルスルホニル-1H-ベンズイミダゾール-2-アミン	6	1	9	13	-	24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	53
レバミゾール	6	1	9	13	-	24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	53
オフロキサシ	-	-	-	13	-	24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	37
オルビロキサシ	-	-	-	13	-	24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	37
合計	96	16	171	286	2	528	10	10	10	20	10	10	10	20	18	1,217

表 1-11-6 平成 28 年度 組換え DNA 技術応用食品検査

品 種	検体種類	項 目	検体数	項目数
トウモロコシ	加工食品	トウモロコシ (CBH351)	5	5

表 1-11-7 平成 28 年度 放射能検査

対 象 食 品	検体数	依頼元
流通食品	250	食品安全課
保育所給食	陰膳 (提供食検査)	幼保運営課
	食材検査	
学校給食	陰膳 (提供食検査)	保健体育課
	食材検査	
合 計	626	

表 1-11-8 平成 28 年度 苦情食品検査 (理化学検査)

搬入月	検 体 の 種 類	検体数	検 査 項 目
4 月	ずんだ	1	農薬(168 項目)
5 月	スープパスタ	2	農薬(168 項目)
	どら焼	1	揮発性有機化合物(19 項目)
	蕎麦かりんとう	2	揮発性有機化合物(19 項目)
6 月	もやし	1	揮発性有機化合物(19 項目)
9 月	むき栗	1	鑑別
	学校給食	2	鑑別
10.11 月	牛肉	3	揮発性塩基窒素
1 月	ポテト	4	揮発性有機化合物(19 項目)
2 月	オリゴ糖	1	揮発性有機化合物(19 項目)
	おにぎり	3	鑑別
	コロッケパン	1	鑑別

苦情食品等検査依頼数 12 件 依頼検体数 22 検体 685 項目

表 1-11-9 平成 28 年度 項目別苦情食品等検査依頼件数

項 目	依頼件数
農薬 (168 項目)	2
揮発性有機化合物	5
鑑別	4
揮発性塩基窒素	1

表 1-12 平成 28 年度 家庭用品検査

検体名	項目名	ホルムアルデヒド			有機水銀	デイルドリン	水酸化カリウム・水酸化ナトリウム	メタノール	テトラクロロエチレン	トリクロロエチレン	容器試験	ジベンゾ（a・h）アントラセン	ベンゾ（a）アントラセン	ベンゾ（a）ピレン	検査数合計	検体数合計
		生後二十四ヶ月以内のもの	生後二十四ヶ月以内を除くもの	小計												
試験検査数合計		59	12	71	33	4	2	4	6	6	2	0	0	0	128	80
基準違反数合計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
織 維 製 品	おしめ	2	-	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	2
	おしめカバー	2	-	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	2
	よだれ掛け	4	-	4	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	4
	下着	8	4	12	12	2	-	-	-	-	-	-	-	-	26	12
	中衣	8	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	8
	外衣	8	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	8
	手袋	2	2	4	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	4
	くつした	6	2	8	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16	8
	帽子	6	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	6
	衛生パンツ	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
	寝衣	9	2	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	11
	寝具	4	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	4
	家庭用糸	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2
小計		59	10	69	33	4	0	0	0	0	0	0	0	0	106	72
家庭用化学製品	家庭用接着剤	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0
	くつしたどめ等接着剤	-	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2
	家庭用塗料	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0
	家庭用ワックス	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0
	くつ墨・くつクリーム	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0
	家庭用エアゾル製品	-	-	-	-	-	-	4	4	4	-	-	-	-	12	4
	家庭用洗浄剤	-	-	-	-	-	2	-	2	2	2	-	-	-	8	2
	防腐木材・防虫木材	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0
小計		0	2	2	0	0	2	4	6	6	2	0	0	0	22	8

表 1-13-1 平成 28 年度 飲料水等及びプール水の検査種別件数

検体名	検査種別	一般依頼件数	保健所依頼件数	合計
飲料水等	全項目検査	12	0	12
	省略不可能項目検査	62	0	62
	必須項目検査	303	6	309
	有機塩素系検査	0	0	0
	給水設備関連項目検査	12	0	12
	消毒副生成物検査	6	0	6
	原水項目検査	5	0	5
	単項目検査（細菌検査分を含む）	159	4	163
	小 計	559	10	569
プール水		13	0	13
合 計		572	10	582

表 1-13-2 平成 28 年度 飲料水等の検体種別検査結果

検体種別	検査件数	適合件数	不適合件数	不適合率 (%)
自家用井戸水	166	139	27	16.3
専用水道原水	91	89	2	2.2
専用水道浄水	233	230	3	1.3
小規模専用水道原水	9	7	2	22.2
小規模専用水道浄水	15	14	1	6.7
簡易専用水道	10	9	1	10.0
その他	45	45	0	0.0
合 計	569	533	36	6.3

表 1-13-3 平成 28 年度 自家用井戸水における区別必須項目検査結果

項目 区名	検査 件数	不 適 合 数	不 適 合 率 (%)	項 目 別 不 適 合 数										
				一般 細菌	大腸菌	亜硝酸 態窒素	硝酸・ 亜硝酸 態窒素	塩素 イオン	有機 物	pH 値	臭気	色度	濁度	
中央区	16	1	6.3	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
花見川区	20	9	45.0	1	2	-	4	-	-	-	-	2	1	1
稲毛区	10	2	20.0	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
若葉区	63	8	12.7	2	2	-	4	-	-	-	-	-	-	2
緑区	45	7	15.6	3	1	-	2	-	-	-	-	1	-	1
美浜区	2	0	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合 計	156	27	17.3	6	5	0	12	0	0	0	0	4	1	4

表 1-13-4 平成 28 年度 項目別飲料水等理化学検査

	検査件数	不適合数	不適合率(%)
亜硝酸態窒素	400	1	0.3
硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	400	12	3.0
塩化物イオン	400	0	-
有機物（全有機炭素（TOC）の量）	401	0	-
pH値	400	0	-
臭気	400	8	2.0
色度	400	2	0.5
濁度	401	6	1.5
カドミウム	17	0	-
水銀	17	0	-
セレン	17	0	-
鉛	29	0	-
ヒ素	26	0	-
六価クロム	17	0	-
シアン化物イオン及び塩化シアン	85	0	-
臭素酸	80	0	-
ホルムアルデヒド	80	0	-
フッ素	21	0	-
亜鉛	29	0	-
鉄	40	0	-
銅	29	0	-
ナトリウム	17	0	-
マンガン	40	0	-
カルシウム、マグネシウム等（硬度）	21	0	-
蒸発残留物	33	0	-
陰イオン界面活性剤	17	0	-
フェノール類	17	0	-
ホウ素	17	0	-
1,4-ジオキサン	17	0	-
アルミニウム	17	1	5.9
非イオン界面活性剤	17	0	-
ジオスミン	17	0	-
2-メチルイソボルネオール	17	0	-
クロロ酢酸	80	0	-
ジクロロ酢酸	80	0	-
トリクロロ酢酸	80	0	-
ジクロロメタン	17	0	-
シス1,2-ジクロロエチレン及びトランス1,2-ジクロロエチレン	17	0	-
ベンゼン	17	0	-
クロロホルム	80	0	-
ジブロモクロロメタン	80	0	-
ブロモジクロロメタン	80	0	-
ブロモホルム	80	0	-
総トリハロメタン	80	0	-
四塩化炭素	17	0	-
テトラクロロエチレン	17	0	-
トリクロロエチレン	17	0	-
1,1,1-トリクロロエタン	0	0	-
塩素酸	84	0	-
合 計	4,762	30	

表 1-13-5 平成 28 年度 プール水検査

検査項目	検査件数
pH値	12
濁度	12
有機物等（過マンガン酸カリウム消費量）	12
総トリハロメタン	1
合計	37

表 1-14 平成 28 年度 室内中化学物質検査

項目	検査件数	検体数
ホルムアルデヒド	2	10

表 1-15 平成 28 年度 精度管理に関する業務

	内部精度管理		外部精度管理		
	実施頻度	実施項目	実施項目数 実施検体数	実施項目	実施機関
食品等	検査実施毎	試験品の検査項目毎に添加回収試験を実施	6項目 4検体	<ul style="list-style-type: none"> シロップ中の安息香酸の定量 ほうれんそうペースト中の6種農薬中3種農薬の定性と定量 鶏肉ペースト中のスルファジミジンの定量 果実ペースト中の着色料の定性 	一般財団法人食品薬品安全センター
	-	-	2項目 1検体	<ul style="list-style-type: none"> 玄米粉砕試料中の放射性セシウム(セシウム 134、137) 	一般財団法人日本冷凍食品検査協会
家庭用品	検査実施毎	試験品の検査項目毎に添加回収試験を実施	-	-	-
飲料水等	検査実施毎	約10試料毎及び最後に一定濃度の標準試料を測定し、算出濃度が規定値内かを確認	2項目 2検体	<ul style="list-style-type: none"> 色度 亜硝酸態窒素 	千葉県水道水質管理連絡協議会 (水質検査精度管理委員会)
			4項目 2検体	<ul style="list-style-type: none"> ジクロロ酢酸 トリクロロ酢酸 銅 六価クロム 	

(5) 内部精度管理・外部精度管理

検査の信頼性確保を目的として「千葉市食品衛生検査施設における検査等の業務管理要領」等に基づき、内部精度管理・外部精度管理を行った。

ア 細菌検査

各検査は、「標準作業書」に基づき実施した。また、食品検査に使用する機器類についても、GLPで規定した「機械器具保守管理標準作業書」に基づき保守点検を実施した。

(7) 内部精度管理

検査精度確認のため、生菌数検査を年4回実施した。

(イ) 外部精度管理

第三者機関である一般財団法人食品薬品安全センターから送付された検体について、微生物学的調査（黄色ブドウ球菌検査）を実施した。

また、日水製薬株式会社が実施したレジオネラ属菌検査精度管理サーベイに参加した。

イ ウイルス検査

厚生労働省が実施する外部精度管理事業（インフルエンザウイルスの核酸検出検査（リアルタイムRT-PCR法））に参加した。

検査は、国立感染症研究所から送付された検体について実施した。

ウ 臨床検査

厚生労働省エイズ対策政策研究事業のHIV検査の精度管理に参加した。

検査は、東京都健康安全研究センターから送付された検体（血清）について実施した。

エ 理化学検査

内部精度管理は、食品等や家庭用品の理化学検査試行毎の精度確認であり、外部精度管理は、外部機関から送付される擬似食品等を通常と同様に検査を行い、他の検査施設との比較を目的に行うもので、食品等や飲料水等の理化学検査について行った。（表1-15）。

各検査は、「標準作業書」に基づき実施し、「検査標準作業書」は常に見直し、必要な改定を実施した。また、食品等や家庭用品検査に使用する機器類についても、GLPで規定した「機械器具保守管理標準作業書」に基づき保守点検を実施した。

(7) 食品等検査

保健所が「千葉市食品衛生監視指導計画」に基づき収去、買上した検体の検査については、「千葉市食品衛生検査施設における検査等の業務管理要領」に基づき実施した。

a 内部精度管理

検査精度確認のため、試験品の検査頻度に応じ、検査項目ごとに添加回収試験を実施した。

b 外部精度管理

第三者機関である一般財団法人食品薬品安全センター及び一般財団法人日本冷凍食品検査協会から送付された検体について延べ5回の検査

を実施した。

(イ) 家庭用品検査

保健所が「千葉市家庭用品監視指導要領」に基づき試買した検体の検査については、「千葉市家庭用品検査施設における検査等の業務管理要領」に基づき実施した。内部精度管理として、検査項目毎に件数に応じた頻度での添加回収試験を実施した。

(ウ) 飲料水等検査

一般及び行政依頼による検体の検査について、「水質基準に関する省令の規定に基づき厚生労働大臣が定める方法（平成15年厚生労働省告示第261号）」に基づき実施した。

a 内部精度管理

約10試料毎及び最後に一定濃度の標準試料を測定し、算出濃度が規定値内かを確認した。

b 外部精度管理

千葉県水道水質管理連絡協議会及び厚生労働省が実施する外部精度管理に参加し、延べ3回6項目について実施した。